

問 新たな国際交流の検討状況は

答 姉妹都市交流の充実と多様化

問 新たな国際交流の検討状況は。

答 交流事業の継続にあたり、物価上昇や燃料価格高騰の影響で航空運賃等が上昇し、財政的負担が増加している。また、訪問団受け入れ時には職員の業務負担が大きいという課題もある。今後は航空会社のさらなる比較検討による渡航費用の抑制と、姉妹都市交流協議会との連携強化により、企画・運営面での協力を得ながら、行政負担の軽減と持続可能な体制整備を進める。



新政とうかい
川崎 裕弥 議員



姉妹都市アイダホフォールズ市を訪れた村の一般訪問団

問 交流継続の財政・人的負担の評価は。

答 交流事業の継続にあたり、物価上昇や燃料価格高騰の影響で航空運賃等が上昇し、財政的負担が増加している。また、訪問団受け入れ時には職員の業務負担が大きいという課題もある。今後は航空会社のさらなる比較検討による渡航費用の抑制と、姉妹都市交流協議会との連携強化により、企画・運営面での協力を得ながら、行政負担の軽減と持続可能な体制整備を進める。

答 國際交流の充実と多様化を目的に、村民の関心や盛り上がりを踏まえながら、ハワイと台湾を新たな交流先を探して調査・研究を進めてきた。その中で、交流は訪問にとどまらず、教育・文化・産業など多分野で持続可能な関係を築くことが重要と再認識した。

今後は国際交流の目的や意義を整理した上で、まずは既存交流の充実と多様化に主眼を置き、着実に取り組んでいく。

問 原子力施設、ドローン攻撃への備えは

答 武力攻撃への対応は求められていない

問 新たな国際交流の検討状況は。

答 村内に11の原子力施設があるが、各施設のリスクをどのように把握し評価しているか。

答 多種多様な原子力施設が立地しており、大小様々なリスクが存在。新規制基準対応等によるリスク対策が図られていると認識。



光風会
えり 恵利 いつ 議員



11か所ある事業所のうちの1つ
核燃料サイクル工学研究所の航空写真

問 今年7月、玄海原発にドローンとみられる飛行物体が飛来したとの報道があった。各事業所においてドローンなどの侵入・攻撃を未然に防ぐ探知システム等の対策はできているのか。また、保有状況を把握しているか。

答 村としては、全原協を通じて、国に防護ドローンを構築するように対策の再検証や強化などを要請している。

は武力攻撃への対応までは求められていない。事業者は治安当局と連携して対応していると承知している。具体的な対策や設備の保有状況については、核物質防護の観点から答えられない。